

### 栃木県及び周辺の地震活動（令和5年4月）

#### 【地震活動概況】

今期間の県内の最大震度は2でした。

今期間に県内で震度1以上を観測した地震は9回（前月7回）でした。このうち県内で震度3以上を観測した地震はありませんでした（前月2回）。

#### 【栃木県及び周辺の地震活動】

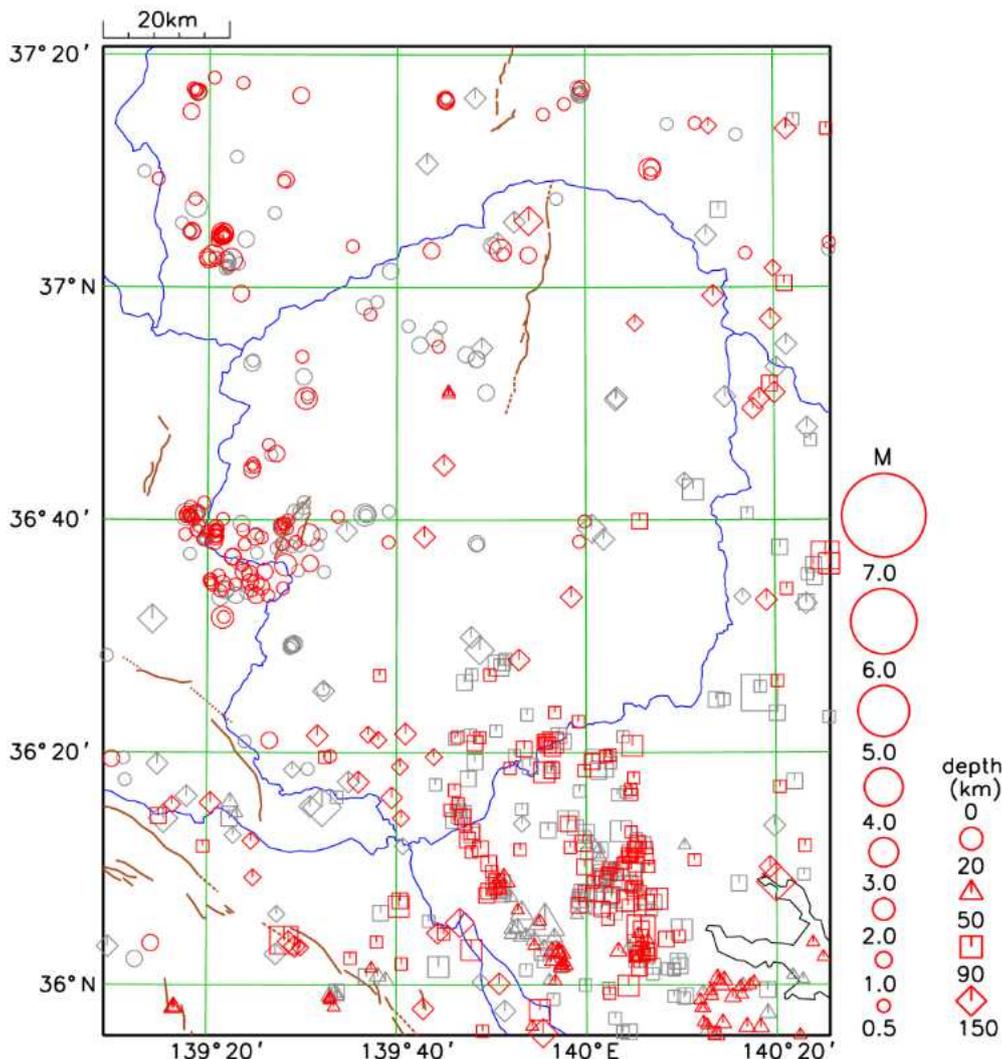


図1 震央分布図（2023年3月1日～2023年4月30日）

- ・この期間の地震活動と比較するため、前1ヶ月の地震活動を灰色で示しています。
- ・Mはマグニチュードで0.5以上、深さ（depth）は150kmまでの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがあります。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000(行政界・海岸線)』（国土地理院）を加工して作成しました。

#### 【4月の県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	4月1日	18時41分	新潟県下越沖	38° 18.0′	138° 51.2′	28	4.9	3	1
		18時41分	新潟県下越沖	38° 18.3′	138° 50.6′	27	4.9		
2	4月2日	17時34分	茨城県北部	36° 27.8′	140° 35.7′	55	3.8	2	2
3	4月4日	12時53分	茨城県南部	36° 08.8′	140° 19.9′	96	3.3	1	1
4	4月7日	21時46分	茨城県沖	36° 45.1′	141° 16.5′	75	4.0	2	1
5	4月8日	15時01分	埼玉県北部	36° 03.8′	139° 28.1′	60	3.6	2	1
6	4月12日	17時45分	福島県沖	37° 04.3′	141° 12.3′	48	4.0	3	1
7	4月17日	2時25分	福島県沖	37° 10.7′	141° 23.9′	46	4.8	4	2
8	4月27日	4時17分	茨城県南部	36° 04.8′	140° 05.7′	51	3.4	2	1
9	4月27日	22時43分	福島県沖	37° 03.3′	141° 09.7′	49	4.0	2	1

- ・地震No. 1の2つの地震は、短い時間の内に起きたため、地震と震度の分離ができませんでした。
- ・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については気象庁HP等で確認して下さい

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

#### 【震央分布図範囲内の地震】

今期間中、県内で震度3以上を観測する地震などの目立った地震活動はありませんでした。

#### 【震央分布図範囲外の地震】

今期間中、県内で震度3以上を観測する地震などの目立った地震活動はありませんでした。

#### 【防災メモ】～地震と土砂災害～

栃木県の北西部は、那須連山、日光連山、足尾山地などが連なる山岳地帯となっていますが、地震活動が活発な領域としても知られています。

記録がある大きな地震としては、1659年に福島県との県境で発生した岩代・下野の地震、1683年に日光付近で発生した日光地震、1949年に発生した今市地震などがあります。これら大地震の際には土砂災害も同時に発生しており、1683年日光地震（M7.0）では大規模な土砂崩れにより鬼怒川がせき止められ、旧五十里湖が形成されたことがよく知られています。この天然のダムは40年ほど後に大雨で決壊し、その洪水は鬼怒川下流域の広い地域を襲いました。

このように、山間部で大きな地震に遭遇した場合、山崩れ・地滑りによる道路や電線等ライフラインの損傷、河道閉塞による浸水被害など、都市部ではあまり意識することのない災害にも留意する必要があります。

気象庁では、揺れが大きかった地域を対象に、地震による地盤の緩みを考慮し、土砂災害を対象とする大雨警報・注意報や土砂災害警戒情報の発表基準の引き下げを行っているほか、地震発生後の大雨の見通しなどの情報を適宜お知らせして、被災者・復旧担当者への支援を行っています。

- ・気象庁HP

揺れの大きかった地域における気象警報・注意報の発表基準について

[https://www.jma.go.jp/jma/menu/keiho\\_unyo\\_z.html](https://www.jma.go.jp/jma/menu/keiho_unyo_z.html)

東日本大震災～東北地方太平洋沖地震～ 関連ポータルサイト

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/jishin-portal.html>

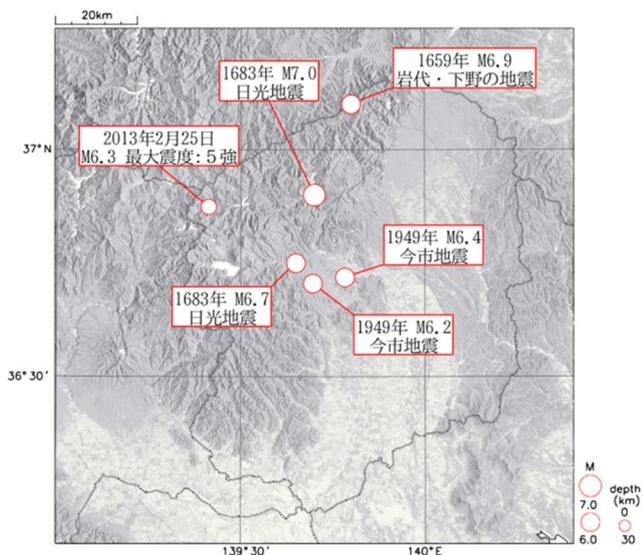


図2. 県北部で起きた主な地震の位置



図3. 平成30年北海道胆振東部地震による斜面崩壊 (気象庁災害時地震報告より)

本資料についての問い合わせ先 : 宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260